

## 演劇部等の活動の様子が紹介されます（お知らせ）

島根県立三刀屋高等学校（本校）

島根県立三刀屋高等学校掛合分校

三刀屋高校および掛合分校の演劇部等の活動について、日頃よりご支援いただきありがとうございます。次のとおり本校・分校演劇部等の活動の様子が紹介されますのでお知らせさせていただきます。（掛合分校演劇同好会は、今年度活動を行っていません。）

### 1. 青春舞台2023とTBS ラジオ『アフター6ジャンクション』の放送について

今年も9月30日（土）15:00～17:00に、Eテレで『青春舞台』が放送されます。これは、高校演劇の全国大会を特集した番組で前半1時間は出場校のドキュメンタリーと全国大会のダイジェスト、後半1時間は最優秀賞の徳島県立城東高校「21人いる！」の上演映像です。前半部分には、本校も登場しますのでご覧ください。

<https://www.nhk.jp/p/s-butai/ts/175JWLN5PZ/>

また、TBS ラジオ『アフター6ジャンクション』（全国放送）の9月13日（水）放送分と9月20日（水）放送分で高校演劇特集をやっています。放送は終わりましたが、「radico」や「Spotify」といったアプリで無料で聴けるようです。

9月13日（水）放送は「プレ高校演劇特集」（20分くらい）の中で、掛合分校の映画『走れ！走れ走れメロス』や中国大会で上演した「走れ！山月記」の話題でした。

9月20日（水）放送は「高校演劇2023～夏の終わりの報告会～」（50分くらい）の中で鹿児島の全国大会の様子や生徒講評委員の活動（講評中の音声あり）の様子など本校の紹介もされています。

<https://open.spotify.com/show/3Xvbka6gUb0Sxsf4Iiu8qJ>

### 2. 掛合分校演劇同好会『走れ！走れ走れメロス』上映について

掛合分校演劇同好会は、今年度活動を行っていませんが、昨年度に掛合分校の生徒たちが、前年初めて演劇と出会い大会に臨む姿を追ったドキュメンタリー映画で、各地で上映をしていただいています。

先週末は、ご指導いただいた亀尾佳宏先生が、兵庫の豊岡劇場へ舞台挨拶（アフタートーク）に行かれました。「土曜日は5名、日曜日は8名という少ないお客様でしたが、高校演劇の顧問の先生や娘が高校演劇やっていたという方も来てくださり、お客さんを交えた楽しいアフタートークができました。」（亀尾先生）

現在決まっている上映予定は次のとおりです。（上映済のものも掲載しています。）

#### ○豊岡劇場（兵庫）

9月22日（金）18:15～      9月23日（土）15:00～

9月24日（日）15:00～      9月25日（月）18:15～

9月26日（火）18:15～

#### ○横川シネマ（広島）

9月23日（土）～9月29日（金） 19:00～

\*23日は折口監督と亀尾教諭のアフタートークあり

9月30日（土）～10月6日（金） 10:00～

○させぼガレッジ劇場（長崎）

1 1月2日（木）・3日（金・祝）

○チェリヴァホール（島根）

1 2月9日（土）

<https://filmmarks.com/movies/104960/reviews/151605225>

そのほか、ここの映画館なら上映してくれるかも、とかこんなイベント上映したい（地域のお祭りや学園祭など）などありましたら情報をお寄せください。

この映画を東京でご覧になった元文科省官僚の寺脇 研さんからメールをいただきました。（以下抜粋）

「演劇もすばらしいし、映画もすばらしい。何より、登場する生徒たちの心の変化がダイナミックです。田舎の高校生でも、問題を抱えた高校生でも、自分を変えることはできる。そのことを全国の高校生に伝える力のある映画だと思います。

1994年の高校指導要領改正に携わり、総合学科を創設したり職業学科（現・専門学科）を活性化したりして以来、ずっと高校生のことを考えてきた者として、できるだけ多くの高校生と、彼らに関わる大人たちに観てもらいたいと心底思う次第です。

ほうぼうで吹聴すると、地方の映画祭が興味を示してくれたり、遠く東北、北海道の高校教育関係者が強い関心を持ってくれたりしています。また、柄本 明さんに話したところ、演劇人として関心を持ってもらいました。」

### 3. 映画の続編『メロスたち』が完成しました

『走れ！走れ走れメロス』の続編である『メロスたち』が完成し、9月18日（月・祝）に下北沢映画祭で上映しました。

こちらの内容は、掛合分校演劇同好会の曾田さんが一人で大会に臨み、中国大会に出場したり中国大会を途中で抜けて文学座の試験を受けに行ったりする様子を中心に掛合分校演劇同好会最後の一年をドキュメンタリーにしたものです。

令和5年9月15日（金）付の山陰中央新報でも取り上げていただきました。今後の予定はありませんが上映の機会をさぐりたいと思います。